

綾川町立陶小学校

本校の児童は、明るく素直である反面、自尊感情が低く、進んで行動できなかつたり、根気強さや我慢強さに欠けたりする傾向があり課題となっています。今年度は、自尊感情や学級の団結力を高めようと、予防的生徒指導や学校の自慢づくり、個々の自慢づくりに取り組みました。

実践事例（関連項目：教育活動プラン①-2・④-1）

自慢づくりによる予防的生徒指導(快の開花)

目的

めあての達成に向けて協力し合うことで、個々の達成感や居場所づくり、学級の団結力の向上を図っています。

内容

● 詩の暗誦

学期に2回、課題の詩を暗誦すべく、各自で、また友達と協力して練習に励み、校長室で暗誦しました。

● 一校一運動（逆上がり）

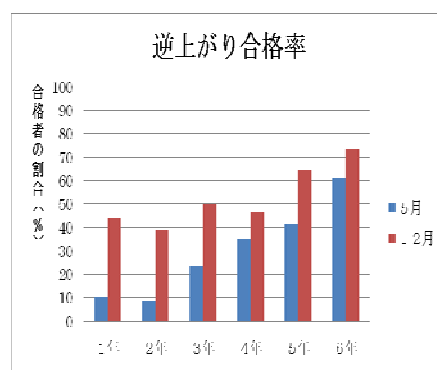
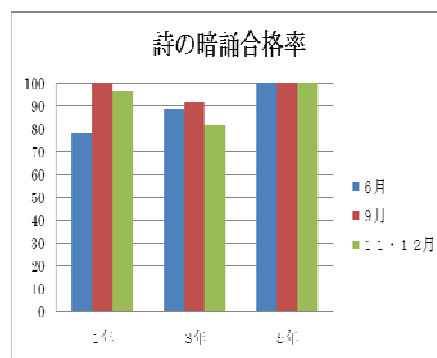
逆上がり全員成功を目指して、授業だけでなく、休み時間や放課後も練習しました。教える児童は、活躍の場があることで自尊感情を高め、教えてもらう児童は、居場所を感じ、粘り強さを身に付けられます。

● 黙目清掃

全校で黙って清掃に取り組んでいます。教員が指導する時も、児童が友達に何かを訴える時も、しゃべらず目で語るようにしています。（思考力の育成にもつながります。）

成果

- ・ 努力の末、詩を暗誦した児童の喜ぶ姿や、友達を励ます姿が教室でよく見られるようになりました。
- ・ 集中して清掃に取り組む習慣がついてきました。



児童が主体的に計画する異学年交流

目的

全校生がふれ合い、協力する場を委員会が企画・運営することで、異学年の児童とのかかわり方を学ばせるとともに、全校のことを考えて企画・運営することの難しさを乗り越える達成感を味わわせました。

内容

● ハッピーデー

学期に1回、児童会が全校生の意見を取り入れた全校生によるふれ合いの場を企画します。今年度は得点制おにごっこや8の字大縄とびをしました。



異学年給食のグループで
8の字大縄跳び

● 実り給食・学校保健委員会

各委員会の企画するクイズでは、異学年給食のグループでチームを組んで、自己決定の場を与えました。下級生の意見を聞きつつまとめていく活動は他者との折り合いをつけるよい機会になりました



学校保健委員会でのクイズ
—絵しりとり—

成果

- ・ 上級生は我慢することや自主性が向上しました。
- ・ 低学年は居場所を感じ、上級生の注意に耳を傾けるようになってきました。

◆ 本校におけるその他の取組

- 人とのかかわり方を学ぶために、ソーシャルスキルやエンカウンター、アートカードを使った活動をしています。
- 不登校児童への予防的取組として、放課後チューターやサマースクールを行い、宿題の悩みを軽減しています。